

中小企業景況調査結果(平成27年1~3月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成27年1~3月期実績と平成27年4~6月期見通しについての調査結果(回答数84社、回答率84%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

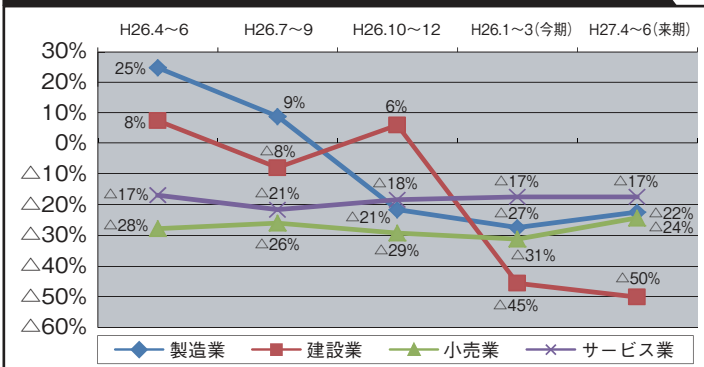
全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲19%から▲28%とマイナス幅が9ポイント拡大し、今期更に悪化した。消費税増税後の回復が遅れているものと見られる。業種別にみると、製造業が▲21%から▲27%へと低下、建設業が6%から▲45%へとマイナスに転じ大幅に低下した。熟練技術者や下請業者の確保難等人手不足が目立ち、新築・増築工事等民間需要の停滞が影響したものと見られる。平成27年4~6月期の見通しについては、ゆるやかに回復の見通しだが、建設業はさらに低下の見通しである。

経営上の問題点については、依然として製造業、建設業、小売業が「需要の停滞」を挙げており、今期も解消されていない。サービス業は、顧客のニーズ変化への対応が問題点となっている。また、全業種ともに仕入れ単価もしくは、原材料価格の上昇をあげる企業が多く見られるようになり、新たな経営上の問題点となっている。

◆業況DI値(今期の状況)

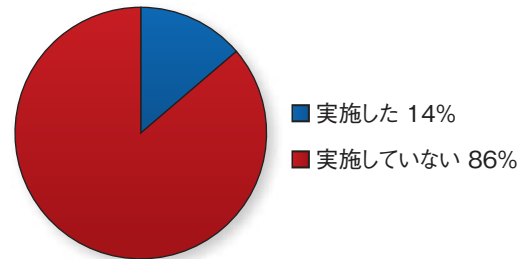
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△28%	↘	△29%	↘	△14%	↘	27%	→	△23%	→	△6%	→
製造業	△27%	↘	△18%	↗	△20%	↘	45%	↘	△18%	↗	△10%	↘
建設業	△45%	↘	△64%	↘	△27%	↘	9%	↘	△55%	↘	△18%	↘
小売業	△31%	→	△43%	↘	△7%	↗	17%	↗	△31%	↗	△3%	↗
サービス業	△17%	→	△7%	↗	△11%	↘	30%	↗	△3%	↗	0%	↗

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

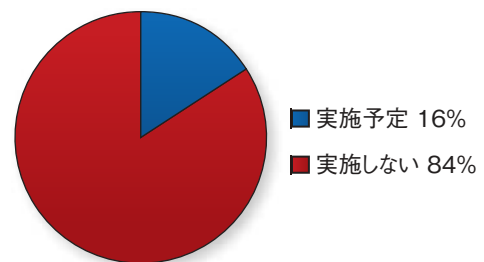


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

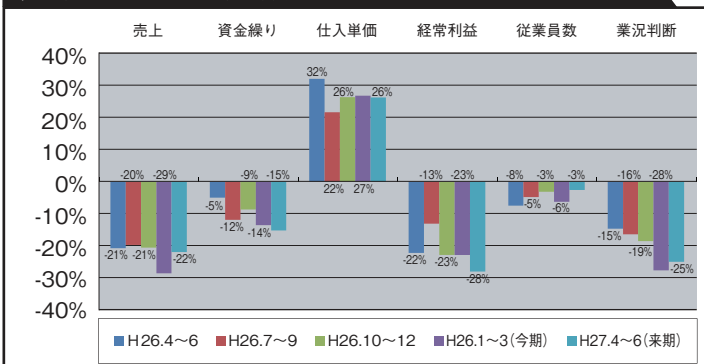
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	需要の停滞	26.9%	民間需要の停滞	17.2%	需要の停滞	15.8%	新規参入業者の増加	14.9%
2位	原材料価格の上昇	16.0%	下請業者の確保難	10.3%	購買力の他地域への流出	14.5%	消費者ニーズの変化への対応	13.5%
3位	取引条件の悪化	12.0%	官公需要の停滞	10.3%	消費者ニーズの変化への対応	13.2%	需要の停滞	13.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。